

平成 27 年度大阪府立視覚支援学校 第 1 回学校協議会 記録

1 日 時 平成 27 年 7 月 9 日 (木) 10:00~11:30

2 場 所 大阪府立視覚支援学校 校長室

3 次 第

- (1) 校長挨拶
- (2) 協議会委員の紹介
- (3) 協議会事務局員の紹介
- (4) 平成27年度 大阪府立視覚支援学校 学校協議会について
- (5) 協議会長（議長）選出 （委員の互選により選出）
- (6) 協議
- (7) 今後のテーマと開催予定について
- (8) 准校長謝辞

4 協議事項

- (1) 平成27年度 学校経営計画及び学校評価について
- (2) 平成27年度 学校概況について
- (3) 新校舎建設の進行状況について
- (4) 創立100周年記念事業について
- (5) 使用教科書の採択について

5 協議内容

(委員) 今後の学校経営計画の中で、大阪市立視覚特別支援学校の府への移管の予定に向けた取組の内容について何か計画等考えていることがあるか。

(事務局) 現在、中期目標 2（1）に「大阪視覚障がい教育研究会」で大阪市立視覚特別支援学校や大阪市内の弱視学級がある小中学校とのつながりがある。研究会の中で、府・市との活動内容を意見交換し、大阪北と大阪南で同じような活動を行なっていけるようにしていく必要があるだろう。徐々に進めていきたいと考えている。

(委員) 府内に 2 つの視覚障がいを対象とした学校ができるので、歩行訓練士など専門性のある教員の人事交流などを期待したい。

(委員) いじめ関係のことが報道されているが、本校でこの 1 年間でいじめの報告はなかったか。

(事務局) 学校教育自己診断の結果等ではいじめと認識されるケースはなかった。子ども間でコミュニケーションがうまくとれず相手のことを誤解したことを把握した時等には迅速に関係教員が対応している。

(委員) 新しく設置された柔道整復科について詳しく知りたい。

(事務局) 平成19年度から視覚支援学校再編事業が進んでいる。校舎の建て替えと教育課程の見直しの 2 本立てで進んできて、教育課程の見直しの中で新しい校舎の中身を考えていった。主に専修部の学科再編を行ってきた。音楽科と情報処理科があったが、入学生の減少や職業自立の面で閉科となった。その代わりに職業自立に向けた内容として柔道整復科を設置した。複数の免許をもって活動することを期待している。

- (委員) 柔道整復師の国家試験において、視覚障がいがある人への配慮はどうなっているか。
- (事務局) これまでも視覚障がいのある受験生に一定の配慮があるが、長期的な視点で教育委員会と相談の上、国家試験を行なっている財団へ働きかけをしていきたい。写真などの出題形式の変更やデイジー使用などの配慮をお願いしたいと思っている。
- (委員) 高等部の教科書として活用しているタブレット型端末の点字や音声の対応についてはどうなっているか。
- (事務局) 現時点では点字の対応はできていない。現在のタブレット型端末のバージョンでは音声に十分対応できていない。文部科学省の委託事業をされている大学で、テキスト部分を参照できるようなアプリを作成し、それを使うとうまく音声を読み上げできるようになる対応を現在、開発されている。

6 今後のテーマと開催予定について

第2回

- ・テーマ 校内公開授業週間における授業見学及び協議
- ・開催日 11月下旬を予定